

令和7年度

内閣総理大臣  
表彰

厚生労働省推薦

貝谷嘉洋

(東京都)

【受賞理由】

- 貝谷氏は、2003年より障害者の国際舞台芸術コンクール「ゴールドコンサート」を制作・総指揮し、20回主催。2013年より障害者が運営の担い手となるロック・ポップスの複数の著名アーティストによる音楽イベントである「GCグランドフェスティバル」を開催。数多くの障害当事者のパフォーマーを発掘・支援。
- 重度肢体不自由者として日本初のジョイスティック車運転免許の取得者であり、運転の自由が障害者のQOL(生活の質の向上)向上等につながることを啓発。
- その活動は、影響を受けた他の団体やボランティアによる障害者が参加する音楽祭やコンテストの開催などに波及しており、多くの様々な人々を巻き込み、障害者の社会的な活躍の場を拡大させた、その貢献を高く評価。



貝谷 嘉洋 氏

## 【 概要 】

➤ 筋ジストロフィーのため14歳で歩行不能となり、通常の学校から入学を制限される等、未整備な環境ながら日本で大学卒業後、単身渡米。現地介護者雇用により自立生活をしながらカリフォルニア大学バークレイ校で修士号取得、片手で運転できるジョイスティック車で北米大陸一周した経験を通じて、障害者の自立促進、権利拡大の必要性を実感し、帰国後NPO法人を設立し、障害者支援活動を開始した。

## 【 功績・功労 】

- 2021年5月、重度肢体不自由者として日本初のジョイスティック車運転免許を取得。調査研究や講演活動を通じ、運転の自由が障害者のQOL向上、自立、社会参加につながることを啓発してきた。
- 国際舞台芸術コンクール「ゴールドコンサート」において、バリアフリーに優れたホールを選定し、情報保障(ネット生配信、手話、PC文字通訳)を充実させるなど、アクセシビリティを追求するとともに、パラリンピック開会式への出場者を輩出するなど、障害者の社会的な活躍の場を拡大させた。
- 障害者が様々な業務を担う、日本初の障害者が主催するエンタテインメント事業「GCグランドフェスティバル」において、障害の有無に関わらず同じ場で実際に働き、遊ぶことによりそれが当たり前社会になるよう参加者に啓発。
- NPO団体として大臣表彰を受賞した令和3年以降も、障害当事者等のこどもたちがコンサートの運営補助に携わる「キッズボランティア」活動などの新たな取組を開始した。



ゴールドコンサートの様子